

## 高温期のミズナ栽培における株張り改善技術

農林センター 園芸部

## 要旨

高温期のミズナは徒長しやすいため、葉数が増加する前に出荷草丈に達して株張りが悪くなるが、生育の中後期は播種後日数と生育を指標に少量ずつかん水を行ったり、葉面に接触刺激を与えることにより草丈の伸長が緩やかになり、株張りを改善することができる。

## 成果の概要

生育中期から後期のかん水を少量ずつ小分けして行うことによって、草丈の伸長が緩やかになり、株張りが改善できる(図1)。

播種後日数と生育に応じた少量かん水の指標を提示した(表1)。

防虫ネット等の柔らかい資材で、播種後10日目頃から収穫期まで1日1~2回ミズナの葉面に接触刺激を与えると、草丈の伸長が緩やかになり、株張りが改善できる(図2)。

ミズナの株張りに及ぼす諸条件の影響と株張り改善技術に関する資料「高温期のミズナの株張り改善対策」を作成した。

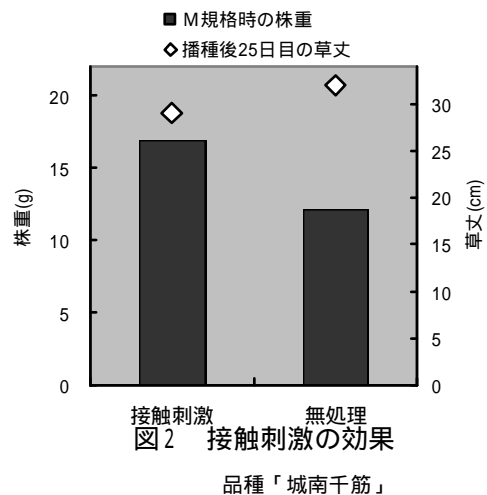
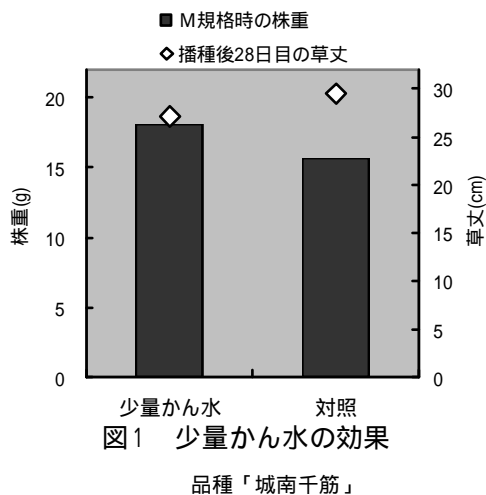


表1 少量かん水の指標

播種15日目まで	: 明らかに乾燥している部分があれば 5~10L/m <sup>2</sup> かん水
播種15日目	: 最長葉15cm未満なら、5L/m <sup>2</sup> 程度かん水
播種20日目	: 最長葉20cm未満なら、5L/m <sup>2</sup> 程度かん水
播種25日目以降	: 最長葉30cm未満なら、5L/m <sup>2</sup> 程度かん水(2~3日間隔で)

施設の立地条件等により微調整する。

(問合せ先: 0771-22-6492)